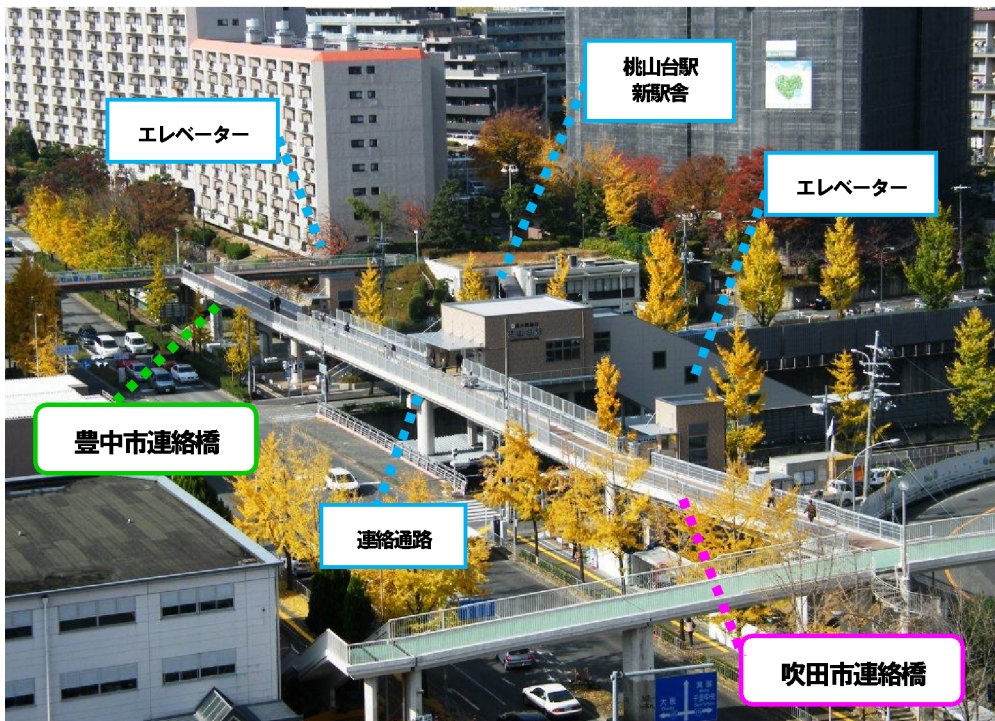


3度目のバリアフリー化推進功労者大臣表彰を受賞

—鉄道事業者と複数自治体連携による桃山台駅及び周辺のバリアフリー化—

豊中市は、北大阪急行電鉄(株)、吹田市と進めた桃山台駅でのバリアフリー化事業が評価され、「第4回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」を受賞しました。豊中市のバリアフリーに関する大臣表彰は、平成20年3月の「第1回国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」、平成20年12月の「平成20年度バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰」に続き、3度目となります。

豊中市では、市内13駅全てでバリアフリー化事業を進めており、平成18年には吹田市と協働で桃山台駅周辺の交通バリアフリー基本構想を策定しました。この構想に基づき、北大阪急行電鉄が新駅舎やエレベーターを設置するとともに、三者の連携で連絡橋を整備。新駅舎から国道などを立体横断してバスターミナルや周辺住宅地へ移動できるようになり、安全で利便性の高いバリアフリー化を実現しました。



出来上がった新駅舎・連絡橋



受賞者集合写真 (平成23年1月18日)